

## 単元名 季節の言葉4

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。  
 (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。  
 (3) 言葉の響きやリズムに親しみ、冬らしいものや様子を文章に書こうとする。

## 標準的な展開例

05010218\_001

【教材名】冬の朝 (P. 180～P. 181)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「冬」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。          ★冬らしいものや様子を文章に書き表そう。          ○冬のどんなところが好きか話し合う。</p> <p>○「枕草子」について学んだことを思い出す。          ○「枕草子」を音読したり暗唱したりする。</p> <p>○「冬」に関する言葉や俳句を味わう。</p> <p>2 冬らしいものや様子を文章に書いて交流する。          ○「枕草子」や教科書に出てくる冬を表す言葉を参考に、冬らしいものの様子について文章を書く。</p> <p>○書いたものを互いに読み、交流する。</p>	<p>・教科書の言葉や写真を手がかりに、冬らしいものを思い出させる。</p> <p>・教科書の解説から内容の大体を知り、景色や様子を想像させる。          【評】古文を読む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・二つの言葉や俳句を音読させ、景色や様子を思い浮かべさせる。          【評】冬らしい言葉や、俳句を味わう活動を通して、語感や言葉の使い方を知る「知識・技能」を評価する。</p> <p>・最初に、自分が感じる冬らしいものを書き出させてから、文章に書かせる。          【評】文章を書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】